

昭和初期の中野まち



ホップの積み込み



中野市公民館報

2013 **2**
 No.95
(通巻 No.627)

発行
 中野市中央公民館

編集
 文化なかの編集委員会

〒383-0025
 中野市三好町一丁目4番27号
 TEL 0269-22-2691
 FAX 0269-26-2342

魅力ある中野市に

正面に見える建物は、越後屋燃料店、右手には角奈良旅館の看板があります。中央にフォード社製と思われるトラックへホップの積み込み作業が行われています。この写真から、当時の活気に満ちたホップ産業の様子、活気に満ちた人々の姿が見てとれます。昭和初期に撮影された写真で、道の真ん中に川が流れているのがわかります。

現在の場所は、中野商工会議所上の交差点付近で、右手は(有)信濃植産種苗(角ナラヤ)です。

現在廃止された木島線がまだ開通していません。かつて来た人々がいました。春を告げる中野のひな市を待ち望み、かんじきを履き近隣から訪れた人々もいました。これからの中野市も、そんな魅力のあるまちづくりを進めて欲しいと思います。

今月号の特集

・ものづくり体験を楽しむ
 ・ホップの大産地
 だった中野

あおぞら

昨年、東京都現代美術館で開催されていた企画展「特撮博物館」(七月十日〜十月八日)を見てきた。

私はかつて特撮映画に夢中だった時期(ゴジラ派)があり、展示されていたミニチュアなどに狂喜しつつ、忘れかけていた少年時代を思い出すことができた。展示物は非常に多く、よくぞここまで集めたものだと感心した。

近年は、デジタル技術の発展により、特撮作品が減少し、まさに絶滅危惧種となりつつある。さらに特撮に関わるさまざまな「モノ」資料の保存、新しい世代への特撮技術の伝承など課題は多い。しかし、この企画展がきっかけとなって特撮が再評価され、さまざまな諸問題がよい方向に解決していくことを希望する。

ひさびさに見ごたえのある、そして特撮「愛」に満ちあふれたすばらしい企画展示だった。このような企画展を用意してくれた関係各位に感謝である。

(総員第一種警戒態勢)

特集

ものづくり体験を楽しむ

西部公民館

北部公民館

豊田公民館

北部公民館では、1月19日(土)に親子体験教室あるある探検隊 第8回「ものづくり・やしよまづくり・まとめの会」を実施しました。

ものづくりでは、繭玉やにんじん、くだものなどを作り、リングや5円玉、大判小判とともにミズキの枝につけ、公民館の玄関に飾りました。

やしよまづくりでは、色とりどりの米粉を組み合わせ、桜の花やマンガのキャラクターなどを親子で相談しながら様々なやしよまをつくりました。子どもたちは「楽しかったけど大変だった。できあがって食べたらいかがだったけどちょっとしよっぱかった」と感想を寄せてくれました。



みんなで記念写真

また、今回の講座が今年度最後ということもあり、一年間準備から指導まで多岐にわたってご協力いただいた赤岩M21のみなさんと手作りのお餅とそば団子汁で昼食会を楽しみ、保護者からお礼の言葉が寄せられました。

1月12日(土)、もみじ荘にて、豊田公民館講座「ものづくり」を開催しました。本講座は地域の伝統行事を体験・継承していくことを目標に行っています。ものづくり指導は、今年も信州中野ふるさと交流団さんです。ふるさと交流団では、豊田地域の方が伝統継承や交流のために自主的な活動として取り組んでいきます。

今年は47名が参加し、子どもも多く、いっそうにぎやかになりました。参加者は、ミズキの枝と縁起物の飾り菓子、赤白黄緑4色の団子をうけとり、団子をまゆ玉のほか思いいの形につくって、枝に飾りました。なかには、精巧につくられたブドウやバラ、枝に巻き付けるように飾られた干支の巳など、新しい発想と技巧に凝った作品が多く見られました。



上手にできたかな

今年度最後、一年間準備から指導まで多岐にわたってご協力いただいた赤岩M21のみなさんと手作りのお餅とそば団子汁で昼食会を楽しみ、保護者からお礼の言葉が寄せられました。



みんなきれいにできました

西部公民館では、1月12日(土)に世代間交流事業として、ものづくり講座を開催し、親子連れなど、13名が参加しました。みんなで上新粉を練って蒸し、赤、緑、黄などの色を付け、繭や米俵の形にしたお団子をミズキの枝に飾り付けていきました。野菜やお花、今年の干支であるへびなどを形作る人もいて、楽しみながら完成しました。にぎやかに飾られたミズキ



原先生の丁寧な指導



いろいろな形のお団子を作りました

は家に持ち帰り、今年1年の豊作を願って部屋に飾り家族で楽しみました。また地域のどんど焼きでものづくりのお団子をあぶり、おいしく食べたいそうです。

特集

かつて

ホップ日本一の大産地だった中野



ホップのルーツを訪ねて

「今の一本木公園は、ある工場
の跡地を利用したものです。何の
工場があったでしょう？」これは、
2007年に文化なかの編集委員
が作った「中野検定」第30問目の
問題です。若い人には難しいかも
知れませんが。正解は「ホップの工
場」です。

ご存じのとおり、ホップはビー
ル製造において欠かせない原料で
す。使用する種類や量により味や
香りに大きく影響するといわれて
いますが、中野市内でもホップ栽
培が盛んに行われていたことをご
存じでしょうか？



旧サッポロビール(株)作業所 (現在の中野地域職業訓練センター)



旧アサヒビール(株)作業所 (現在的一本木公園)

おり、子ども達は
ホップ摘みのアル
バイトを楽しみに
していました。重
さで賃金が支払わ
れるため、朝露の
多い午前中にどれ
だけ摘めるかが勝
負です。また、お
やつに「アイスキ
ャンデー」が配
られるという楽し
みもあったことか
ら、このアルバイ
トを経験した人も
多いのではないで
しょうか。
しかし、栽培に

大正8年に、高水^{こうすい}忽布^{ぼつ}販売組合
(上高井・下高井・下水内^{しみづのち}郡の区域)
と大日本ビール(株)【現在のサッポ
ロビール(株)・アサヒビール(株)】と
の間でホップの栽培契約が日本で
初めて結ばれ、かつては栽培面積
が日本一を誇り、中野市の栽培が
全体の大きな部分を占めていまし
た。事務所は中野市松川の現在の
テレビ北信ケーブルビジョンの建
物にありました。

西笠原の綿貫峰一さん(61)宅
でも、農地面積の約三分の一をホ
ップ栽培に充てていたといえます。
近隣の農家もほとんどが栽培して



ホップの品質検査

は苦勞が多かったといえます。春
に株を掘り起して発芽させ、縄を
かけて成長させます。アサ科でつ
る性のホップは高さ5m以上にも
なるそうで、高い所への消毒作業
がとて大変だったといえます。
早朝から始まり、夜を通しての乾
燥作業や選別作業など苦勞も多く、
病害虫の影響や天候にも左右され
やすい作物でした。昭和57年には
台風の影響により、ほとんど収穫
がありませんでした。

現在は、バラ公園として有名な
一本木公園ですが、「信州忽布^{ぼつ}発
祥^{しょう}乃地^{のち}」「信州忽布^{ぼつ}の由来^{ゆらい}」など
の碑もありホップ栽培が盛んであ
ったことがうかがえます。長いビ
ールの歴史、中野市のホップ作り
の歴史を振り返りながら、特産の
きのこ料理で今夜も美味しいビー
ルを飲もうではありませんか。
※文化なかの編集委員が作った
「中野検定」の問題と解答・解説
はHPでご覧いただけます。

平成24年度 分館報コンクール

1月18日(金)、平成24年度分
館報コンクールが開催され、最優
秀賞に間山分館が選ばれました。
コンクールは、広報活動を通じ
分館活動の活性化と、地域連携を
図るため毎年行っています。

今回は42分館、2協議会から提
出された分館報を、中野市公民館
分館協議会正副会長、文化なかの
編集委員会正副委員長、公民館非
常勤主事会正副会長などが審査を
行ないました。

表彰は2月23日(土)の分館長
主事研修会で行なわれます。



慎重な審査

■審査結果■

最優秀賞

間山 分館

優秀賞

若宮 分館

努力賞

栗井 分館

桜沢 分館
下田 分館
小林 分館

こんにちは 分館

牛出分館の行事は、どんど焼きに始まり、分館報ちくまの発行(年1回)、区民スポーツ大会、ふれあい研修視察、文化祭、しめ縄作りなどの行事があります。

6月のスポーツ大会のマレットゴルフでは、子どもからお年寄りまで大勢の皆さんにご参加いただきました。ホールインワン、アンダーパーで廻られた方もおられ大変盛り上がりました。

8月のふれあい研修視察では、柏崎刈羽原子力発電所の見学に行きました。展示館で原子力発電の仕組み

牛出分館

等を説明していただきました。それからバスで発電所敷地内へ入り、建屋の説明や防災についての説明をいただきました。質疑応答では、皆さんの質問が出て皆さんの関心の高さに驚きました。

11月の文化祭では、りんご品評や重さ当て、児童絵画、趣味の展示、蕎麦打ち体験で新蕎麦に舌鼓を打ちました。

敬老会では、マジックサークルの方のマジックに皆さん夢中になりました。これからの分館行事も、区民の皆さんが楽しく気軽に参加できるように努力してまいります。

(牛出分館長 有賀 久男)



柏崎刈羽原子力発電所にて

ふるやとの歴史

寛保二年(一七四二)の大洪水で、民家二一戸は全部流失、死者八名、耕地の大半は流されるといふ大惨事にあい、集落を一段高い現在地へ移転した。

翌年、字上川端に二八〇間(約五一〇m)の川除堤を築き水害に備えた。しかし、弘化四年(二八四七)の善光寺地震と千曲川洪水では、二七戸中、全半壊した家屋八、土蔵潰五、村高二六五石のうち、冠水畑地二〇〇石(七六%)に及んだ。

牛出村は千曲川右岸、高丘台地の北西端に位置し、立ヶ花と栗林両村

皆畑村、牛出村の開田

に挟まれた小さな集落で、字上川端で千曲川が右曲しているため、冠水し易い土地柄であった。冠水はするが水利には恵まれず、しばしば干害にも見舞われた。米中心の江戸時代、皆畑村、牛出村では開田、米づくり志向が強かった。

弘化四年の大地震によって、浜津ヶ池北側の姥ヶ沢地籍から、かなりの水が湧出し始めた。この湧水に目を向けたのが牛出・栗林両村である。栗林村も水不足の村であった。両村は大俣村へ水の無心に何度も

行った。姥ヶ沢から栗林・牛出各村まで引水しての開田を考えていたのである。大俣村では拒否し、後、自村へ引水を試みたり、大正一四年には古川から動力揚水による開田へと発展していくのであった。

大俣の動力揚水という試みは、牛出にも直ちに伝播した。大正一五年、千曲川からの揚水工事着手、昭和五年竣工、揚水高度四七尺五寸、牛出・栗林の新田三七町歩が造成された。

これにより、開墾以来皆畑村、牛出の汚名が返上されるのであった。

(松沢 邦男)

平成25年度 中野市成人式



成人式実行委員会のメンバー

日時 5月4日(土)みどりの日 会場 中野市市民会館
時間 午前9時30分 受付 10時 開式
対象 平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれの方

平成25年2月1日現在、中野市に住民登録をしている平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれの方へ中野市成人式の案内状をお送りします。中野市外に住民登録をしている方で、中野市成人式への出席を希望される方は、中央公民館までご連絡ください。案内状をお送りします。

また、平成25年度の中野市成人式の企画運営は、各地区から選出された17名の新成人からなる成人式実行委員が行ないます。

実行委員は、素晴らしい成人式となるよう会議を重ねています。実行委員長の奥村敦さんからは、「楽しい成人式となるよう実行委員一同取り組んで企画していきますのでお楽しみに!!」というメッセージがありました。


今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。


■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	パソコン ふれあいサロン ＜内容＞パソコンを使用 して、わからないところ を指導員がお答えします。	毎週月曜日 ※祝日、年末年始を除く 午後1時30分～3時30分	中央公民館 2階 団体 室	NPO 新技術新興会	＜定員＞6名 ＜受講料・申込み＞不要 *メニューに沿って進める パソコン教室とは異なります。
	公民館ギャラリー 中野市シニア大学クラブ活動の作品展				
豊田公民館	リズムで遊ぼう	3月15日(金) 午前10時30分～正午	豊田文化 センター	ドラムサークル諏訪 代表 原 房子 先生	＜定員＞15組 ＜受講料＞無料 ＜対象＞3歳未満児と保護者 ※家にある鳴り物をお持ちいただい てもOKです。
	チャレンジ子ども教室 生きる力を育む ふるさと自然体験 ～天体望遠鏡で 星空を見よう～	3月16日(土) 午後7時30分～9時30分 ※予備日 3月17日(日) 午後7時30分～9時30分 (16日に星の観望ができ ない場合)	豊田文化 センター	信州中野天文同好 会のみなさん	＜定員＞20組 ＜受講料＞無料 ＜内容＞星の観望 ＜服装＞あたたかい服装 ＜対象者＞どなたでも(中学生以下 の方は保護者同伴) ＜申込み＞3月11日(月)まで
	チャレンジ子ども教室 生きる力を育む ふるさと自然体験 ～野鳥の観察～	3月23日(土) 午前8時～正午	豊田文化 センター 集合	信州野鳥の会 出野 富永 先生	＜定員＞20名 ＜受講料＞無料 ＜内容＞鳥の野外観察 ＜対象者＞市内小中学生 ＜持ち物＞おにぎり、水筒、 (持っている人)図鑑、双眼鏡、 イラスト帳など。 ＜服装＞あたたかい服装 ＜申込み＞3月19日(火)まで




第3回 春の朗読会



日時：2013年3月10日(日)
時間：午後1時30分から3時30分
(開場 午後1時)
会場：中野市中央公民館2階
勤労青少年ホーム 集会室

＜おはなしネットワーク☆NAKANOとは＞
おはなしの世界を伝える活動をしている人やグループが
手を繋ぎあってできた会です。
お話をする声や言葉を通じて、子どもも大人も心豊かな関係を
育みあうことがたいせつなことだと思ひ活動している団体です。

主催 おはなしネットワーク☆NAKANO



おはなし研究会 道草
グリム童話より「つぐみひげの王さま」

朗読ボランティア せせらぎ
井上ひさし / 著 「握手」

写真と詩の朗読
オカリナの演奏

朗読 やかの会
津村信夫「戸隠の絵本」より「冬物語」

朗読の会 ほおずき
志賀直哉 / 著 「小僧の神様」

共催 中野市中央公民館



冬の高社山／竹原河川敷公園(やまと)



晴れ間の南天／柳沢 (小林幸成)



シャコバサボテン／間山(うさぎ)

はなさと
花郷
Flower Home



しぶき氷／栗和田 (月岡尚雄)

花と季節の写真募集

宛先

☎ 383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館
Eメール c-kominkan@city.nakano.nagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限り、四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)の氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

輝いてます

参加するのは、看護師、作業療法士、市民のボランティアの皆さんです。一日も早く元気になって退院できることを願って、ギターボードやギターの伴奏を届けます。



北信病院うたごえサークル

北信病院うたごえサークル
クリスマスを病院で過ごす患者さんに、院内の病棟をまわってクリスマスの歌や童謡唱歌、フォークソングなどを届けています。七夕には、ゆかた姿で七夕の歌や夏の歌などを患者さんと一緒に歌います。